

カオスの時代を生き抜く

男力め磨き方



加来耕三

昭和33年(1958)10月、大阪市内に生まれる。昭和56年(1981)3月、奈良大学文学部史学科卒業。学究生活を経て、昭和59年(1984)3月から、奈良大学文学部研究員。現在は大学・企業等の講師をつとめながら、歴史家・作家として独自の史観にもとづき著作活動をおこなっている。『歴史研究』編集委員、内外情勢調査会講師、地方行政調査会講師、外交知識普及会講師、中小企業大学校講師、政経懇話会講師、日本歴史学会会員、日本推理作家協会会員、近者は『日本を再興した起業家物語』知られざる創業精神の源流(日本経済新聞出版社)、『戦国軍師列伝』(学陽書房)

混乱期を生き抜いた先達思想を学ぶ

北条早雲

戦国時代の幕開けとなる(77年)が、ひとまず終息した、小田原の切り取りをみたとき、早雲はすでに北条早雲が決断して、40代半ばとなっていたのは、64歳のときであった。

この人物は、室町幕府の政所執事・伊勢氏の一族でない年齢であった。とこそざれながらも、その出がけは、この頃から野上には京都、大和、山心を抱いて新天地・駿河城、備中といった幾つか(現・静岡県中部)へ向かの旅であった。

が、歴史の表舞台に登場した彼の境遇は、一介の切り札であった。の浪人者でしかなかった大輔義忠の妻・北川が、応仁の乱(1467)

という)であり、その北川の産んだ龍王丸が男にあたったことである。早雲はどのあの新五郎氏親を乗せ縁をたよる。

この一件の功名で、早雲は単上郡下方向の庄(現・富士市)を賜わった。文政8年(1477)が、彼の目は、早々に伊豆国(現・伊豆半島)へ向けられた。延徳3年(1491)

4月2日、堀越公方の足利政知が没し、長子・茶丸が幼少のため、家中は混乱した。

しかし、関東に絶大な力をもち、扇合(おうぎがやつ)・上杉家の定正が、気驕る・弘法大師の霊跡を巡礼する、と称して、差し向けて来、早雲に伊豆の修善寺温泉に逗留として、待ち望んでいた。

信義と冷酷さ 2つの顔を併せ持つ男

警固の手薄なことを知った彼は、5000の兵を率いて、堀越御所を包圍し、攻めた。茶丸を自害に追い込む。徒手早雲で、ついに伊豆国を横領した早雲、さるに箱根の向こう側、小田原を欲した。明応3年(1494)8月26日、小田原の名將・大森武部少輔氏親が没する。早雲はその子・信濃守藤頼に親交を結びたい、と持ちかけ、藤頼の油断したところで、一気に小田原城を乗っ取った。

早雲は浪々の身から、ついに戦国大名の先駆者にまでなったわけだが、この成功の秘訣は、一掃したことに知っていた。

「彼らには、5000の兵を率いて、堀越御所を包圍し、攻めた。茶丸を自害に追い込む。徒手早雲で、ついに伊豆国を横領した早雲、さるに箱根の向こう側、小田原を欲した。明応3年(1494)8月26日、小田原の名將・大森武部少輔氏親が没する。早雲はその子・信濃守藤頼に親交を結びたい、と持ちかけ、藤頼の油断したところで、一気に小田原城を乗っ取った。」

「彼は、急ぎ家中に和睦を働きかけ、龍王丸を駿府に迎え、元服させて、この新五郎氏親を乗せ縁をたよる。」

この一件の功名で、早雲は単上郡下方向の庄(現・富士市)を賜わった。文政8年(1477)が、彼の目は、早々に伊豆国(現・伊豆半島)へ向けられた。延徳3年(1491)4月2日、堀越公方の足利政知が没し、長子・茶丸が幼少のため、家中は混乱した。

しかし、関東に絶大な力をもち、扇合(おうぎがやつ)・上杉家の定正が、気驕る・弘法大師の霊跡を巡礼する、と称して、差し向けて来、早雲に伊豆の修善寺温泉に逗留として、待ち望んでいた。

学陽書房
〒102-0072東京都千代田区飯田橋1-9-3
TEL.03-3261-1111 FAX.03-5211-3300

戦国軍師列伝 最新刊

加来耕三

「かれらは、各々の主君のために、そのもてる特性・能力をいかに発揮し、一つの時代を切り拓いた。そこには必死の生き残りの法則、軍師が読むもの条件といったものが読みとれる」(はじめに)

加来耕三

混乱の現代を生き抜くために学ぶ
戦国ナンバー2たちのサバイバル術

<p>第2世代</p> <p>徳川秀忠 黒田長政 蒲生氏郷 細川忠興 立花宗茂</p>	<p>軍師名鑑</p> <p>明智光秀 藤隆高虎 石川數正 千利休 大久保長安</p>	<p>軍師名鑑</p> <p>松永久秀 鍋島直茂 本多正信 安国寺惠瓊 黒田官兵衛</p>	<p>軍師名鑑</p> <p>太田道灌 宇佐助世 山本勘助 太原孫兵衛 片倉十郎 竹中半兵衛</p>
--	--	--	---

西の関ヶ原 大友家直vs豊田如水
「石原の戦い」を詳しく
●定価819円

島津家久と島津豊久 山元素生(著)
●定価882円

関ヶ原大戦

史上最大の合戦をあらゆる角度から大分析!

●定価819円